

授業科目 社会保障論 I

【担当教員名】 横山和彦	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択・選択・選択・選択・必修
	単位数	2	時間数	30
【概要及び学習目標】				
【概要】 本講義は、日本の社会保障の施行過程を、日本資本主義の展開過程にあわせ分析、意義づけることを究極の目的とする。従来の社会保障研究は、社会保障制度の仕組みを解説したものが大部分であった。それらは社会体制との関連がなく、断片的なものに終わっている。また、社会保障の実施過程を分析したものはほとんどない。社会科学以前の社会保障の恣意的なあるべき姿を論じたものもある。本講義は、実証的に社会保障の体制維持の機能を明らかにする。				
【学習の目標】 日本の社会保障を1945年をさかいに、前史と（本）史とに区分する。日本の社会保障は、敗戦以降1960年代の初頭にかけて体系化された。そうして、1970年代当初に重要政策課題となり、充実の道を歩いた。ここで初めて、社会保障制度論が講じられる。1980年代に入ると「財政再建」のもとに社会保障制度の一連の「制度改革」が実行され縮小再生産的施行が行われている。これらのことの教授と理解を講義の目標とする。				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	序章 社会保障研究の課題と方法			講義
2～3	第1章 社会保障前史			
4～5	第2章 被占領期の社会保障			
6～9	第3章 完全雇傭期の社会保障			
10～14	第4章 雇傭不安期の社会保障			
【評価方法】 学期末試験による				
【履修上の留意点】				

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
テキスト	『日本社会保障の歴史』	横山和彦・田多英範編	学文社	1991年
参考文献	『社会保障論』 『福祉国家』（全6巻） 『転換期の福祉国家』（全2巻）	横山和彦 東京大学社会科学研究所編 東京大学社会科学研究所編	有斐閣 東京大学出版会 東京大学出版会	1978年（本学図書館所蔵） 1984年～1985年 1991年